

新人を育てたい。いい。



佐賀です!

Q. 看板屋さんになったきっかけは?

A. デザイン学校を卒業してこれなり「デザイン」だ。と、思っています(笑)

Q. 思い出に残っている仕事を教えてください。

A. 友人の結婚式の看板を作った時、何度も納得するまで作り直したのが覚えてます。完成した時はうれしくて、眠れなかつた。看板を渡した時の驚いた顔を見ると苦勞したのも吹っ飛びます。あとは、ある企業の経営理念を書いた時がありまして、あれは本当に緊張しました。

Q. どんな看板でも手がかりたいですか?

A. 僕は歌舞伎文字を練習してきましたので、やはり字を美しく看板をやりたいです。

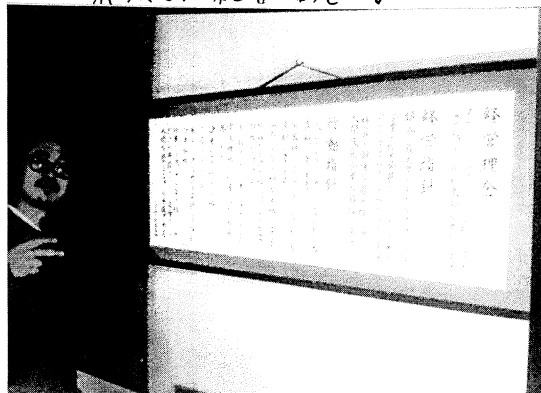
Q. どんな看板でも頼めますか?

A. はい。どんな看板でも任せて下さい。取付けも得意です。まずはお気軽にご相談下さい。

Q. 看板の仕事を13年やられているそうですが、続いた理由は何ですか?

A. 民間には本様に様々なお仕事。経営者の方が居て下さるなあと思いました。僕は青年部に所属しますが、税金や社会の事で勉強して刺激を受けました。全国の青年業者の方とも繋がりがあったので、世界も広がりました。

緊張した経営理念



A. 満足していた。ただ、仕事をしてお客様に喜んでもらえるのが、うれしいので続けていける理由です。あとは看板屋って買えることが幅広くて、電気工事、重機の作業、デザインなどなど、なんでも屋か、という位たくさんあるので、あつという間に13年過ぎました。

Q. 民間に入社、感じたことは?

A. 民間には本様に様々なお仕事。経営者の方が居て下さるなあと思いました。僕は青年部に所属しますが、税金や社会の事で勉強して刺激を受けました。全国の青年業者の方とも繋がりがあったので、世界も広がりました。

Q. 今後どうしていきたいですか?

A. まずは「確定申告を完璧に買えたいですね。そして民間で色々な人と関わるなかで、今までの違う視点から物事を見ていけるようになりたいです。これからも宜しくお願ひします。

愛、大家の佐賀さん
貴重な時間もありかとうございました。



思い出深い友人の結婚祝賀会の看板

カンタン一分間勉強会

「納税の猶予」

高利税金払いきれなくて困っている中小業者の方、たくさん居ますね。そのほとんどが、換務署との分納交渉です。まずなれて、苦しんでいます。そんな時、

- 「納税の猶予」という私達納税者の権利があるのを知っていますか? 税金を納めることができないう状況の時は、たれでも申請することが出来ますよ。申請が認められると
- ① 新たな滞納処分が出来ない。
 - ② 差し押えられた物件の解除も出来ます。
 - ③ 延滞税の引き下げ、または全額免除可能
 - ④ 安心して分納が出来る

知らないうちに事ほど、恐いもの、ってなっていますよ。このコーナーでは、難しいことをなるべくカンタンに説明します。皆さんの周りにも税金の事で困っている方が居ましたら、民間の事、教えてあげて下さいね。

心強い仲間達が待っていますよ! (笑)

〜 編集後記 〜
今回はこの新聞をもっと身近に興味を持ってもらえるように内容を考えて作りました。新聞編集ソフトを使いこなせば、手書きのクオリティの低いものになりましたが、次回以降はもっと良く出来るようにがんばります! ご協力頂いた千葉さん、佐賀さん、感謝しています。ありがとうございます。新聞部では一緒にこの新聞を作ってくれる仲間を募集中です。記事も集めていますので、宜しくお願ひします!!
新聞部 根本純希

12月忙しい時期ですが、皆様体調に気をつけて、良、お年をおむかえ下さい。